

## 鍼灸科

## 公衆衛生学3

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	奥山夕記子			実務経験	有	職種	鍼灸師				

## 授業概要

予防医学という観点から、その方法論を学びます。

## 到達目標

医療人として患者個人の施術を行うだけではなく、地域や職域のみならず国民全体の疾病の予防や健康増進に寄与できる鍼灸師になるのが目標である。衛生学は医学だけでなく栄養学、心理学、社会学、社会福祉学、法学などとも密接に関わる学問なので、広い視野と一般常識も含めた知識、なにより人を思いやる心が育つことが重要である。

## 授業方法

教科書の中だけでは理解しづらい内容に関しては、スマートフォンやPCの検索により情報を各自が得ながら授業を進める。国家試験の対策のために過去の国家試験問題を授業に取り入れ解説する。歴史や社会学的に変化がみられる内容は、グラフや統計などを盛り込んだ、できる限り最新の情報を提供する。個人ワーク以外に毎回グループワークも行い理解を深める。

## 成績評価方法

期末試験。

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

## 教科書教材

衛生学・公衆衛生学東洋療法学校協会編鈴木庄亮著医道の日本社

回数	授業計画
第1回	産業保健
第2回	産業保健
第3回	産業保健

第4回	精神保健
第5回	精神保健
第6回	母子保健
第7回	母子保健
第8回	母子保健
第9回	生活習慣病対策
第10回	生活習慣病対策
第11回	生活習慣病対策
第12回	疫学
第13回	疫学
第14回	衛生統計
第15回	衛生統計